

〔個人情報の取扱い〕

講習会の受講申込み時に提出頂いた個人情報は、(一社)水産土木建設技術センターが実施する水産土木技術者養成事業の適切な運用のためにのみ利用いたします。また、本人の同意がある場合及び関係行政機関から要請があった場合を除き、当該情報の第三者(業務委託先を除きます)への情報提供はいたしませんので、支障がある場合には下記の照会先までお知らせ下さい。

〔照会先等〕

この募集案内に関するご質問、ご照会は、(一社)水産土木建設技術センター水産土木技術者養成係へお願いします(受付時間 10:00～17:00 電話 03-6260-6011(直通) FAX 03-3546-6826 Eメール fukyubu@fidec.or.jp)。この募集案内、申込書は(一社)水産土木建設技術センターのホームページ (<https://www.fidec.or.jp>) からダウンロード可能です。

〔新型コロナウイルス感染症に関する対応について〕

この講習会の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関する「政府や自治体の感染症の対策方針」や「業種別ガイドライン」等を踏まえた開催方針とします。なお、会場において感染予防策を講じますので、参加者の皆様にはご協力をお願いします。また、開催時期の感染症の拡大状況や政府や関係自治体からの自粛要請等を受けて開催中止とする場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

〔今後の予定〕

令和5年度後期は次のとおり開催を予定しています。

- 10月に東京会場、Web 配信講義
- 12月に福岡会場、Web 配信講義

講習会場への交通案内

〔大阪会場〕



〔新梅田研修センターへの交通案内〕

- JR「大阪駅」「梅田駅」より徒歩約10分
直通シャトルバス5分(20分おきに出発)
 - JR大阪環状線「福島駅」より徒歩約7分
- ※有料駐車場 ¥1500/1日当たり
研修のみの方(8:00～23:00)

新梅田研修センター Mホール
〒553-0003
大阪府大阪市福島区福島6-22-20
電話 06-4796-3371

〔札幌会場〕



〔北海道自治労会館への交通案内〕

- JR札幌駅西口より徒歩5分
 - 地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩6分
- ※会場には会館を利用する方の駐車場はありません。
公共交通機関をご利用下さい。

北海道自治労会館 3F中ホール
〒060-0806
北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3
電話 011-747-1457

令和5年度前期水産土木技術者養成講習会 受講者募集案内 (募集対象：都道府県及び市町村職員)

〔(1)大阪会場〕

講義日 令和5年4月17日(月)～4月20日(木)
試験日 令和5年4月21日(金) 9:00～11:45
講義・試験会場 新梅田研修センター Mホール(大阪市)

〔(2)札幌会場〕

講義日 令和5年6月19日(月)～6月22日(木)
試験日 令和5年6月23日(金) 9:00～11:45
講義・試験会場 北海道自治労会館 3F中ホール(札幌市)

〔(3)Web 配信講義〕

- ①試験地 大阪会場
講義配信期間 令和5年3月21日(火)～4月20日(木)まで
試験日 令和5年4月21日(金) 9:00～11:45
試験会場 大阪試験会場(※詳細は受講決定時にお知らせします(大阪市))
- ②試験地 札幌会場
講義配信期間 令和5年5月23日(火)～6月22日(木)まで
試験日 令和5年6月23日(金) 9:00～11:45
試験会場 札幌試験会場(※詳細は受講決定時にお知らせします(札幌市))

※(3)Web 配信講義(以下「web 講義」と言う。)では、配信期間中(約1か月間)に各講義の動画(18科目、講義時間合計1380分(23時間))を任意の場所で視聴していただきます。受講決定後に、Web 講義用のアドレスをお知らせします。講義動画視聴に係るインターネット回線使用料等をご負担下さい。
その後、申込時に選択した大阪試験会場又は札幌試験会場に会場受験していただきます。
なお、大阪会場及び札幌会場に空席がある場合には、Web 講義の受講者も会場での受講を可能としますので、希望者はお申し込み下さい。

◇開催にあたって◇

〔開催の趣旨〕

漁港、漁場、漁村の整備は、水産業を取り巻く情勢に的確に対応しながら、主に水産基盤整備事業により、総合的かつ計画的に実施することとされています。

一方、水産基盤整備事業を支える水産土木技術は、水産学と土木工学が融合した学際的な領域に属するため、大学等においても水産土木技術者の養成教育が行なわれておらず、水産土木事業の担い手となる水産土木技術者の育成が必要とされています。特に、水産土木事業の実施においては水産基本法や漁港漁場整備法で規定されている「環境への調和と配慮」を徹底するため、水産生物の生態系や海洋環境についての専門的知識を持つ技術者の育成が強く要請されています。

このような事情から、当センターは水産庁のご後援を得て、水産生物環境に配慮した水産土木技術と知識の普及等を図るため、都道府県及び市町村職員を対象とした水産土木技術者のための講習会を実施することとなりました。

なお、この水産土木技術者養成講習会は、漁港・漁場・海岸事業などの水産基盤整備事業に携わる技術者を主な対象として実施している水産工学技士養成講習会と同一内容で、同時に開催されるものです。

また、令和2年度から、長寿命化対策(ストックマネジメント)の重要性に伴い、水産基盤施設の日常点検方法についての講義を追加しています。

〔受講者等の特典〕

この講習修了者で、一般社団法人大日本水産会を代表とした共催三団体が実施する水産工学技士登録資格認定試験の受験資格に達している者には、その受験資格が付与されます。

主催：一般社団法人 水産土木建設技術センター
後援：水産庁

〔受講資格〕

受講資格を有する者は、水産土木業務に従事している都道府県及び市町村の職員とする。
（注）水産土木業務とは、水産土木事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務をいう。

〔受講の申込〕

- ① 受講の申込みは、大阪会場は3月10日（金）までに、札幌会場4月27日（木）までに、Web 講義は大阪試験会場が3月10日（金）、札幌試験会場が4月27日（木）までとしますが、定員に達し次第、締め切りますのでお早めにお申込み下さい。
- ② 受講の申込みは、別紙の「受講申込書」に所要事項を記載のうえ、認定試験の受験希望者は写真〔6ヶ月以内に撮影した、縦3.0cm×横2.5cm、上半身正面無帽のもの、コピー不可〕を貼付し申込書送付先に郵送して下さい（FAX・メール不可）。
（申込書送付先）〒104-0045 東京都中央区築地2-14-5 サイエスタビル3階
（一社）水産土木建設技術センター 水産土木技術者養成係

〔受講者の決定等〕

- ① 受講定員は大阪会場、札幌会場共5名程度（Web 講義の定員はありません）としますが、申込状況等に応じて調整いたします。なおWeb 講義はYouTubeによる配信型の講習を実施します。受講が決定した後、講義配信期間を目処にテキストと一緒に接続用のアドレスを伝えます。
- ② 受講が決定した者には、受講者決定通知書を送付し、大阪会場は3月中旬に、札幌会場は5月初旬にテキストを送付します。
- ③ 受講者決定通知書を送付した後は、受講者の変更は原則認めません。

〔受講料等〕

受講料 無料
（但し、（一社）水産土木建設技術センターの会員外は¥56,000-（税込））
※大阪会場、札幌会場、Web 講義ともに同額です。
※振込手数料は受講者負担です。

テキスト代 ¥13,000-（税込）
但し、水産工学技士の登録資格認定試験を受けられる場合は別途、受験料¥13,000-（税込）が必要です。

〔講義内容、日程等〕

1 講義内容

① 概 論	水産土木概論、水産通論、増養殖概論、漁船概論
② 基 礎	漁港・漁場の水理、魚類の生理・生態、 漁場形成と環境・資源、藻場・干潟生物の生理・生態
③ 調 査	水質・底質環境の調査と保全、生物環境の調査法
④ 計 画	漁港漁場整備計画論、漁場整備計画と事例、藻場造成計画と事例、 干潟・浅場造成計画と事例
⑤ 設 計	漁港・漁場施設の構造設計
⑥ 施 工 管 理	水産土木工事の施工と管理、水産土木工事の施工環境監理
⑦ 維 持 管 理	水産基盤施設の維持管理と日常点検

2 講習日程

第1日目（月）	9:15～ 9:45	受付	※注 講師の都合により、講義時間が 若干変更になる場合があります。
	9:45～10:00	開講式、オリエンテーション	
	10:05～12:05	13:05～16:05 講義	
第2日目（火）	9:00～12:10	13:10～16:20 講義	
第3日目（水）	9:00～11:40	12:40～17:00 講義	
第4日目（木）	9:00～12:10	13:10～16:20 講義	
	16:20～16:30	閉講式、終了証書交付	

＜水産工学技士認定試験を受験する場合＞

第5日目（金） 9:00～ 9:15 試験要領等説明
9:15～11:45 水産工学技士登録資格認定試験

3 水産工学技士登録資格認定試験の受験資格

受験資格を有する者は、次のいずれかに該当する者とする。

- ① 水産土木技術者養成講習を修了し、且つ、水産土木業務の従事期間が、下表の学歴と専攻科目の各欄のそれぞれに該当する年数の者

学 歴 \ 専 攻 科 目	①の課程卒業者	②の課程卒業者
大 学	2年以上	4年以上
短大・高専・専門学校	4年以上	6年以上
高 校	6年以上	8年以上

①の課程卒業者：土木工学、農業土木、森林土木又は水産学の課程卒業者

②の課程卒業者：①以外の課程卒業者

- ② 技術士法の建設部門、農業部門（選択科目を「農業土木」とするもの）、林業部門（選択科目を「森林土木」とするもの）又は水産部門（選択科目を「増養殖」、「漁業及び増養殖」、「水産土木」又は「水産水域環境」とするもの）で技術士の登録がなされている者

- ③ 前記の①及び②に該当しない者は、水産土木技術者養成講習を修了し、且つ、水産土木業務の従事期間が10年以上の者

（注1）「水産土木業務」とは、漁港、漁場及び漁港海岸事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務のほか、湖沼、河川及び海域における土木事業の技術的業務を含むものとする。

（注2）「水産土木業務の従事期間」とは、水産土木事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務に従事した期間を通算した期間をいう。

《参 考》

水産工学技士（水産土木部門）資格認定登録制度について

- ① この水産土木技術者養成講習と並行して「水産工学技士養成講習（水産土木部門）」を開催します。受講者募集案内は別途させていただきますのでご覧になって下さい。
- ② 水産土木技術者養成講習を受講され、且つ、所定の業務の経験年数を有する方には、水産工学技士（水産土木部門）「以下（水産土木部門）を省略」登録資格認定試験の受験資格が付与されますが、受験されるか否かは受験者の任意です。水産工学技士の登録資格の取得を希望される方は、受講申込書と一緒に提出する調査書の該当欄にチェックを入れて下さい。
- ③ 水産工学技士登録資格認定試験料は¥13,000-（税込）です。
- ④ 水産工学技士登録資格認定試験料の支払いは、銀行振込にてお支払い下さい。
- ⑤ 水産工学技士登録資格認定試験日は、講習会終了日の翌日9時からです。
- ⑥ 水産工学技士登録資格認定試験の成績によって「日本水産工学会」から講習修了と判定された者の中から、環境に優しい水産土木技術に関する知見と技術を有すると認められた者に対し、共催団体が水産工学技士登録資格者として認定します。登録には¥7,150-（税込）の登録料が別途必要です。
- ⑦ 水産工学技士登録者の合格は、（一社）水産土木建設技術センターのホームページ（<https://www.fidex.or.jp>）で行うとともに、受験者全員へ文書通知をします。
- ⑧ 水産工学技士の資格登録を行った者は、水産庁が推進している「施工環境監理者」の有資格者になります。

代表 一般社団法人 大日本水産会
一般社団法人 水産土木建設技術センター
公益社団法人 日本水産資源保護協会